

2023年度NITE講座

「事業者等における製品安全対策の基礎知識」

基礎講座、事故分析講座、リスクアセスメント講座

# No.03 【TOPICS】製品事故の最新動向

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター 情報解析企画課

足田 侑也

## 本講座のあらすじ

### (1) NITEの紹介

- 組織概要
- 事故情報について

### (2) 製品事故の動向紹介

- 事故情報収集状況
- 事故が多発した製品群の傾向
- その他の事故動向について

### (3) さいごに

# NITEの紹介



## 国際評価技術分野

新しい技術に関する評価方法の開発を通じて市場形成を支援



## 化学物質管理分野

化学物質の人の健康や環境に影響するリスクの低減に向けた情報発信

# nite

経済社会の発展及び国民生活の安定を支える技術的な基盤の整備



## 製品安全分野

くらしの安全を支援する製品事故防止のための情報発信



## バイオテクノロジー分野

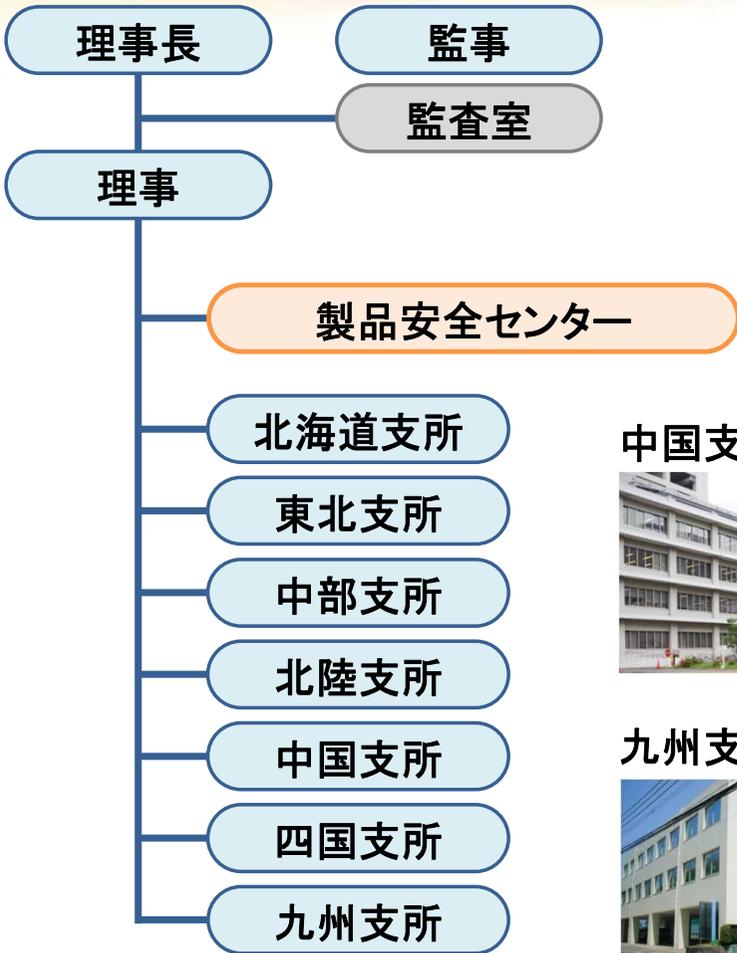
微生物のパワーをバイオ産業の発展に生かす



## 適合性認定分野

市場のグローバル化に対応し国際ルールによる認定を実施

# 製品安全分野の活動拠点



# 製品安全センターの製品事故調査業務

事故情報の収集

事故原因の調査

第三者の審議

調査結果の活用

## ◆事故情報収集制度

1974年 3月  
消費生活用製品安全法 施行

同年 10月  
事故情報収集制度の運用開始  
衆議院商工委員会において、  
製品安全の必要性が言及

通知者の任意の協力の下で、  
製品事故の情報を収集

2011年  
経済産業省の通達  
重大製品事故に該当しない事故  
情報をNITEへ提供する旨、全国  
の事業者団体へ要請



消防・事業者との合同調査



事故品等の確認

## ◆事故動向等解析専門委員会

### 目的

NITEが実施した非重大製品事故の  
調査結果について、技術的な解析・  
評価の妥当性や、事故原因・再発  
防止措置等の調査結果を、公正・  
中立な立場で審議

### 構成員

学識経験者、消費者団体、弁護士  
試験・検査機関、国の機関



広報映像撮影



製品事故予測システム

# 事故情報の収集フロー



消費生活用製品安全法における「製品事故」に該当する

消費者が被害を連絡

製造・輸入事業者以外  
(消防、警察、販売事業者等)

重大製品事故

非重大製品事故

製造・輸入事業者

報告(義務)

重大製品事故

非重大製品事故

通知・報告(任意)



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

事故原因の調査結果等を踏まえた  
事故防止策の検討・実施・公表

重大製品事故の  
調査指示

事故情報の提供  
重大製品事故の  
調査結果の報告

nite

事故情報の収集

事故原因の調査

第三者の審議

調査結果の活用

(1) NITEの紹介

- 組織概要
- 事故情報について

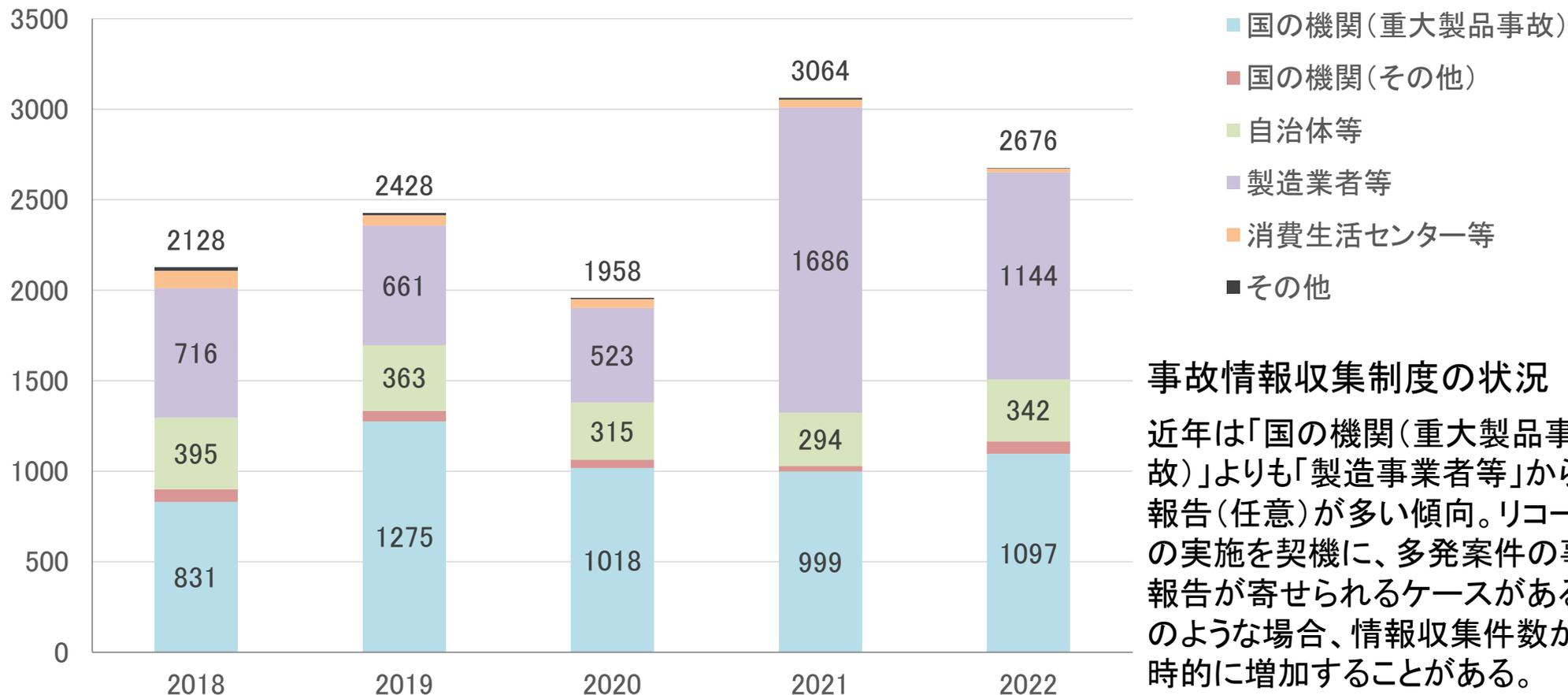
(2) 製品事故の動向紹介

- 事故情報収集／発生状況
- 事故が多発した製品群とリスク
- その他の事故動向について

(3) さいごに

# 収集した事故情報の実績(収集源別)

(件数)



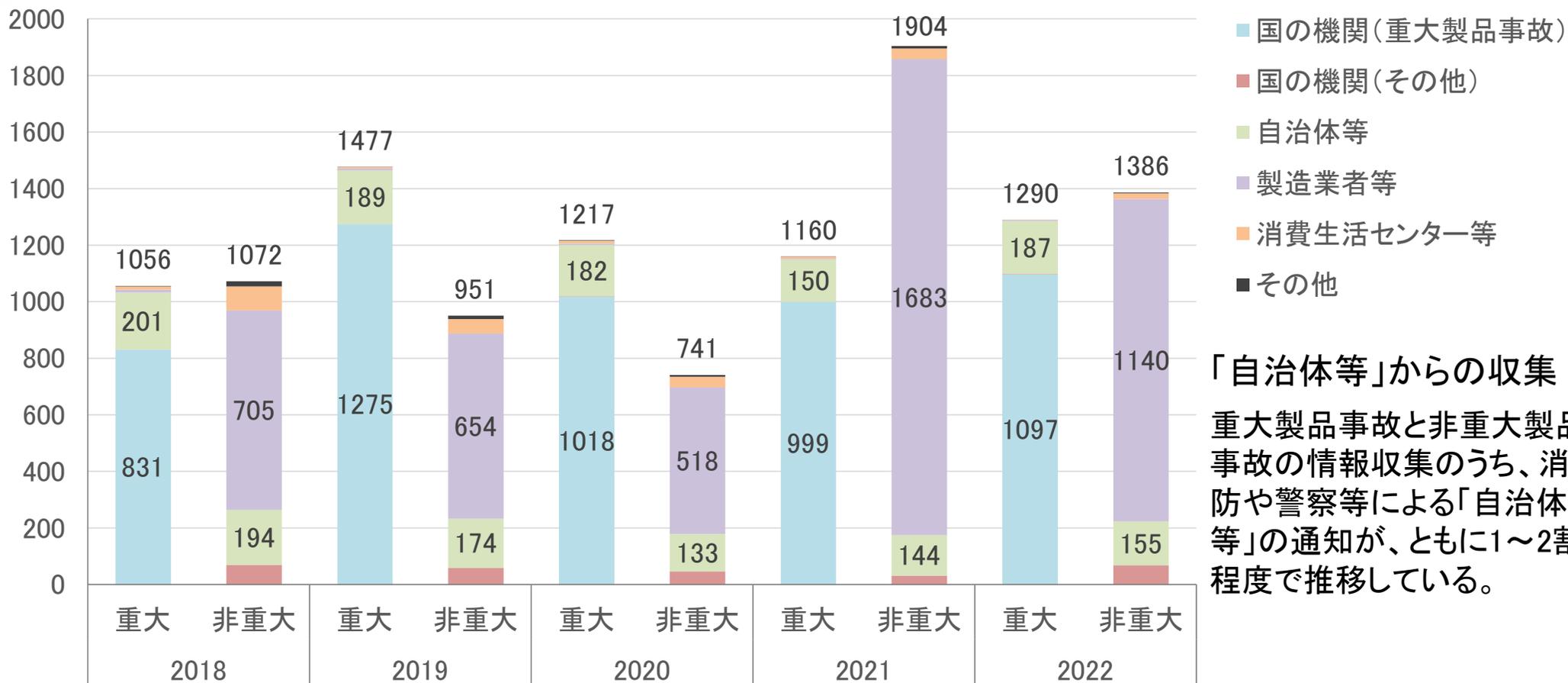
## 事故情報収集制度の状況

近年は「国の機関(重大製品事故)」よりも「製造事業者等」からの報告(任意)が多い傾向。リコールの実施を契機に、多発案件の事故報告が寄せられるケースがある。そのような場合、情報収集件数が一時的に増加することがある。

※100件以下の件数は割愛、重大製品事故については国との集計方法の差異から、双方の数値が異なる場合があります。

# 収集した事故情報の実績(重大・非重大製品事故／収集源別)

(件数)

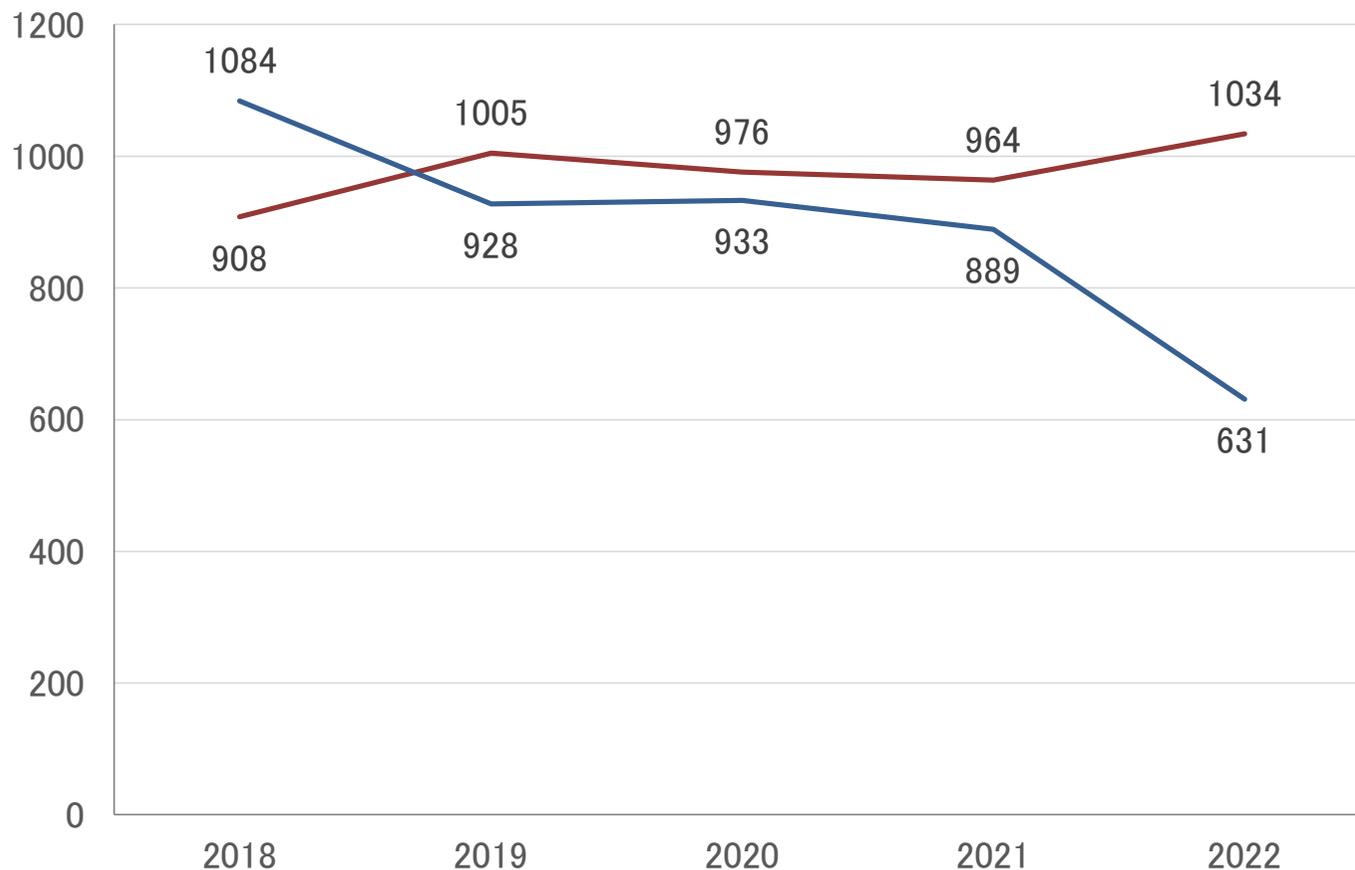


「自治体等」からの収集  
 重大製品事故と非重大製品事故の情報収集のうち、消防や警察等による「自治体等」の通知が、ともに1~2割程度で推移している。

※100件以下の件数は割愛、重大製品事故については国との集計方法の差異から、双方の数値が異なる場合があります。

# 年度別事故発生件数(暫定)

(件数)



— 重大製品事故 — 非重大製品事故

## 事故の発生状況

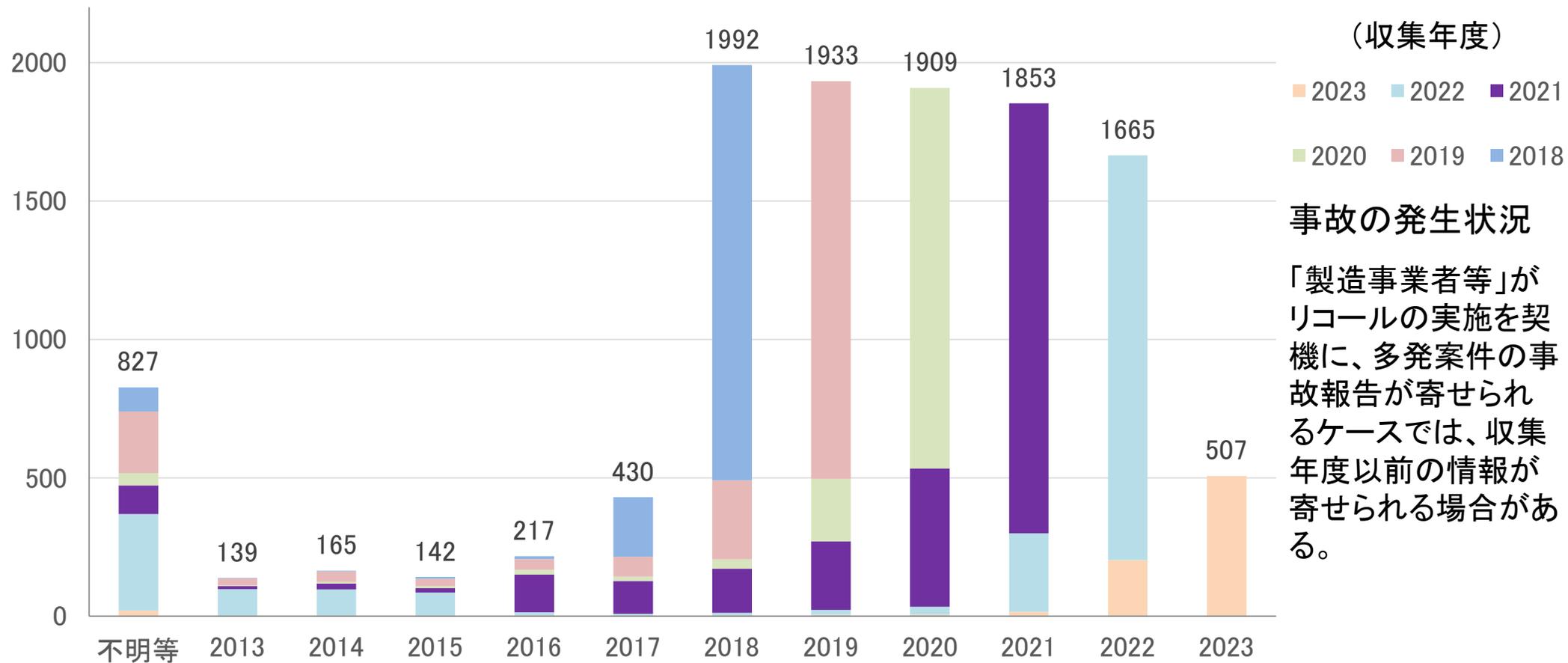
収集情報には収集年度以前の事故情報や、複数の機関から同一の事故について通知・報告が寄せられることがある。ここでは、収集状況とは独立した発生件数について示す。

重大製品事故の件数は、1,000件前後を推移している。一方、非重大製品事故の件数は減少傾向に見える。しかし、2022年度以降に、2022年度以前に発生した事故情報を収集する可能性があるため、今後の動向を注視する必要がある。

※重大製品事故については国との集計方法の差異から、双方の数値が異なる場合があります。

# (参考) 年度別事故発生件数の事故情報収集年度内訳

(件数)



(収集年度)

- 2023 (orange)
- 2022 (light blue)
- 2021 (purple)
- 2020 (green)
- 2019 (pink)
- 2018 (blue)

**事故の発生状況**  
 「製造事業者等」が  
 リコールの実施を契  
 機に、多発案件の事  
 故報告が寄せられ  
 るケースでは、収集  
 年度以前の情報が  
 寄せられる場合がある。

## 年度別事故発生件数ランキング(製品群別)

2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
品名	件数	品名	件数	品名	件数	品名	件数	品名	件数
照明器具	144	自転車	154	ベビーカー	132	ベッド	330	バッテリー類	136
家具	131	バッテリー類	118	バッテリー類	127	バッテリー類	124	自転車	91
自転車	124	家具	113	自転車	110	自転車	109	電気調理器具	79
パソコン	119	照明器具	108	家具	103	家具	92	エアコン	77
バッテリー類	96	パソコン	100	照明器具	101	照明器具	78	家具	67
エアコン	63	ベビーカー	83	ヘアドライヤー	95	エアコン	64	充電器	66
電気器具	61	電気掃除機	65	エアコン	75	パソコン	47	照明器具	62
直流電源装置	57	エアコン	65	パソコン	70	配線器具	39	ベッド	60
配線器具	57	充電器	55	電気ストーブ	56	電気ストーブ	38	配線器具	43
ガスこんろ	56	ガスこんろ	47	ベッド	45	充電器	35	ガス器具	41

「バッテリー類」と「自転車」の製品事故が、過去5年間でも上位にある

## (参考) 危害スコアの定義

「危害スコア」とは、事故1件あたりの「危害の程度」を示した数値

$$\text{事故1件} \times \begin{array}{l} \text{危害の程度} \\ (0\sim 4\text{点}) \end{array} = \text{事故1件の危害スコア}$$

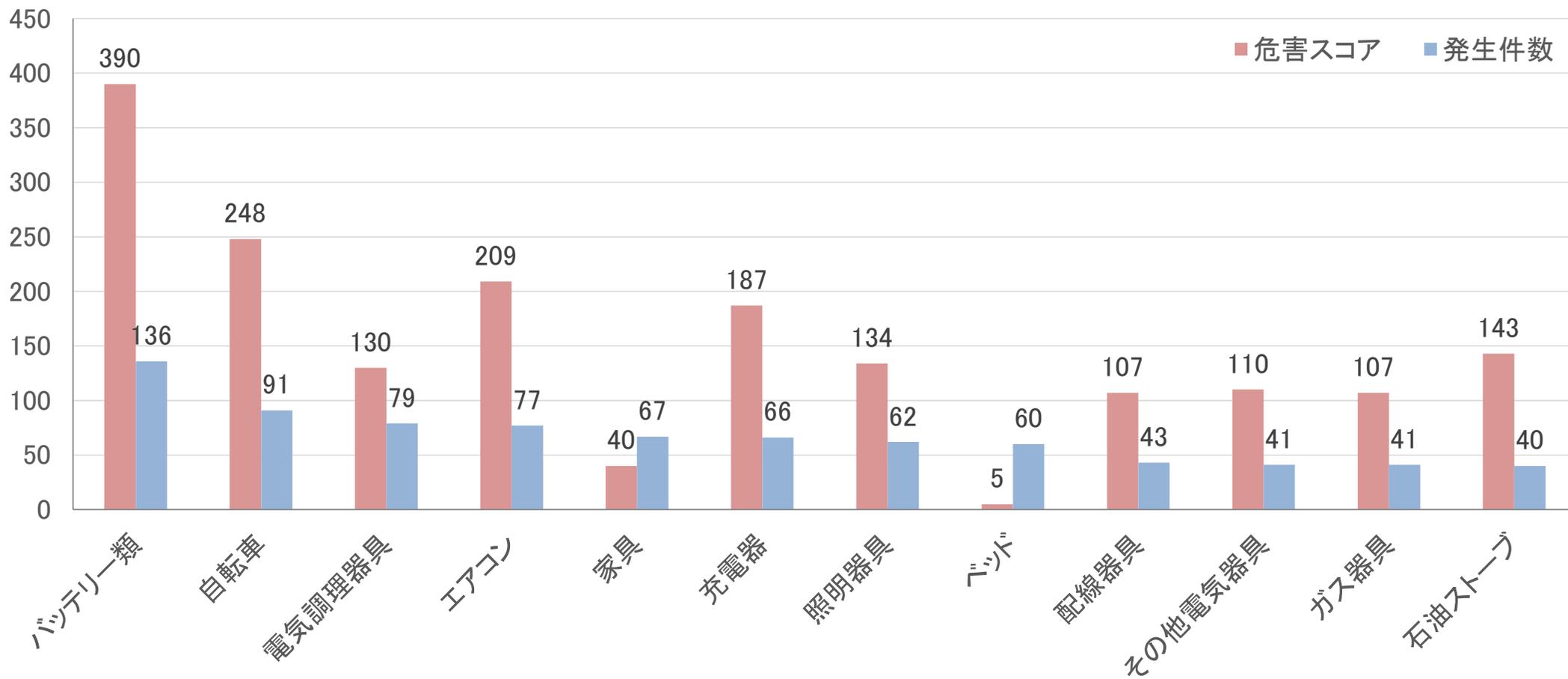
危害スコアを製品分類ごとの総和で評価することで、製品群のリスクを可視化することができる

R-Map手法で使用する危害の程度のカテゴリ

危害レベル	0	I	II	III	IV
定性的な表現	無傷 None	軽微 Negligible	中程度 Marginal	重大 Critical	致命的 Catastrophic
人に対する危害	なし	軽傷	通院加療	重傷 入院加療	死亡
火災	なし	製品発煙	製品発火 製品焼損	火災 (周辺焼損)	延焼 (建物延焼)
スコア	0	1	2	3	4

# 2022年度事故発生上位10製品群の件数と危害スコア

(件数／危害スコア)



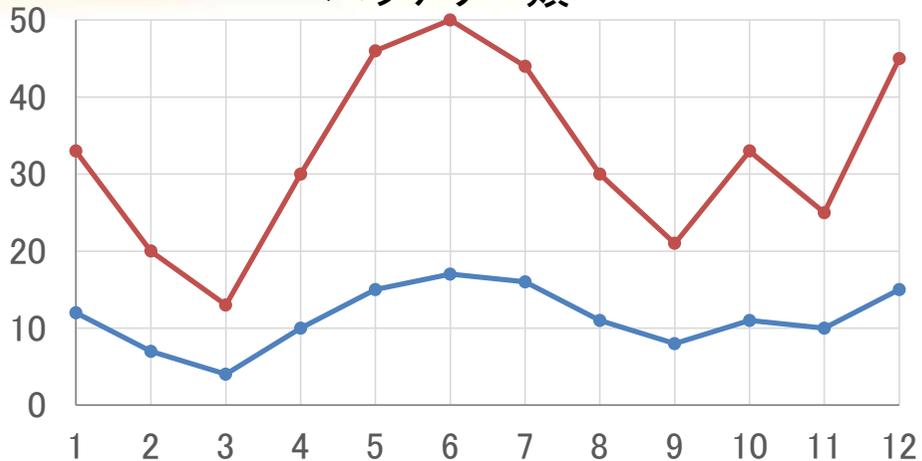
## 年度別事故発生製品群ランキング(危害スコア)

2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
品名	スコア	品名	スコア	品名	スコア	品名	スコア	品名	スコア
自転車	324	自転車	418	バッテリー類	328	バッテリー類	317	バッテリー類	390
バッテリー類	257	バッテリー類	304	自転車	301	自転車	287	自転車	248
エアコン	239	エアコン	184	エアコン	197	エアコン	171	エアコン	209
パソコン	205	パソコン	183	パソコン	146	照明器具	136	充電器	187
照明器具	184	電気掃除機	164	照明器具	142	配線器具	107	石油ストーブ	143
ガスこんろ	175	照明器具	150	石油ストーブ	140	電気ストーブ	107	照明器具	134
電気ストーブ	170	石油ストーブ	143	電気ストーブ	117	石油ストーブ	98	電気調理器具	130
充電器	169	ガスこんろ	127	充電器	114	パソコン	97	その他電気器具	110
石油ストーブ	161	充電器	123	ヘッドライヤー	112	充電器	92	配線器具	107
配線器具	146	電気ストーブ	85	ガスこんろ	102	携帯電話機	83	ガス器具	107

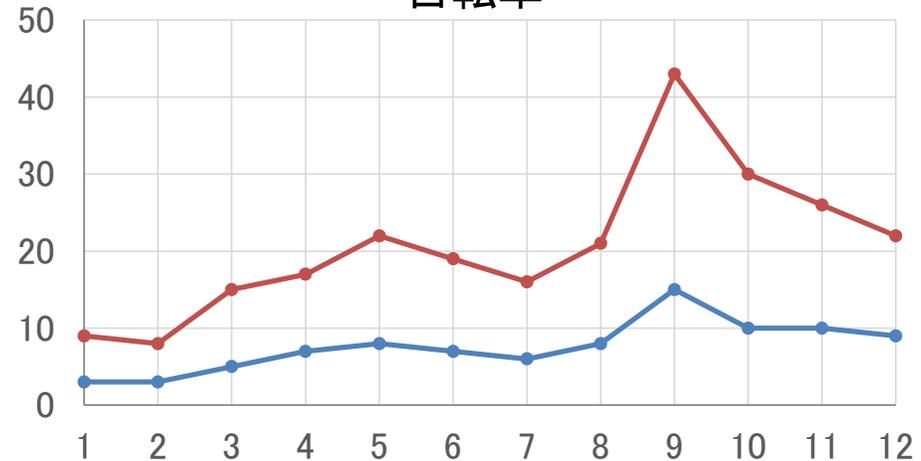
製品群「バッテリー類」の危害スコアも増加している傾向。

# シーズン別の事故発生①(上段:2022年度、下段:過去5年度の危害スコア)

## バッテリー類



## 自転車



横軸: 発生月

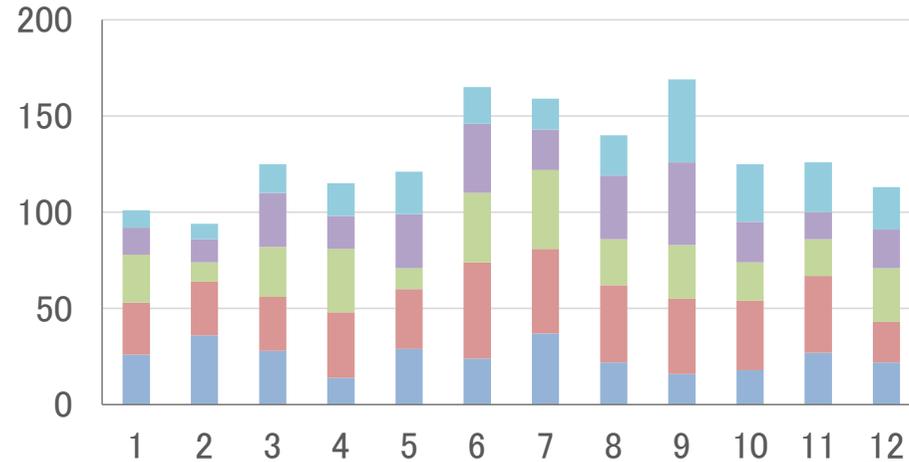
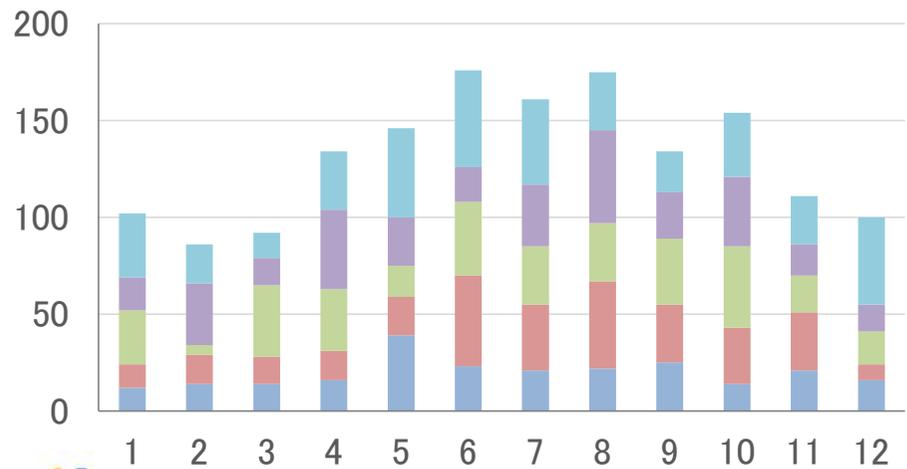
縦軸:



危害スコア



発生件数



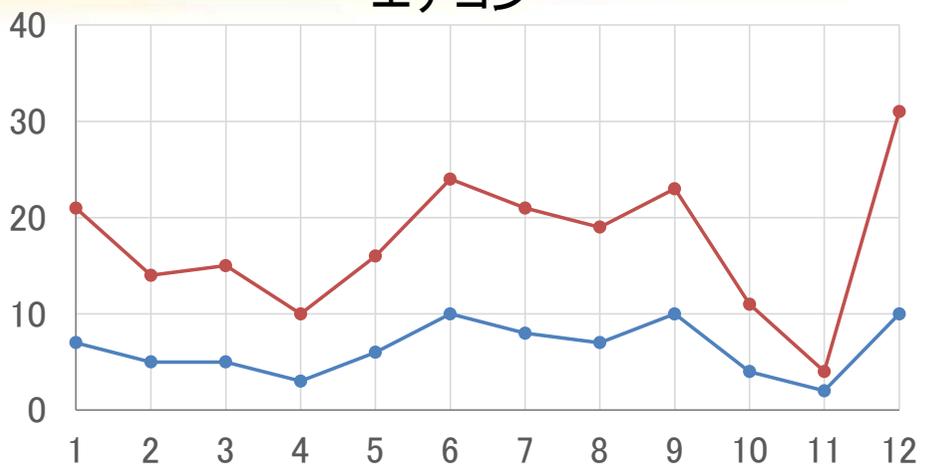
横軸: 発生月

縦軸: 危害スコア

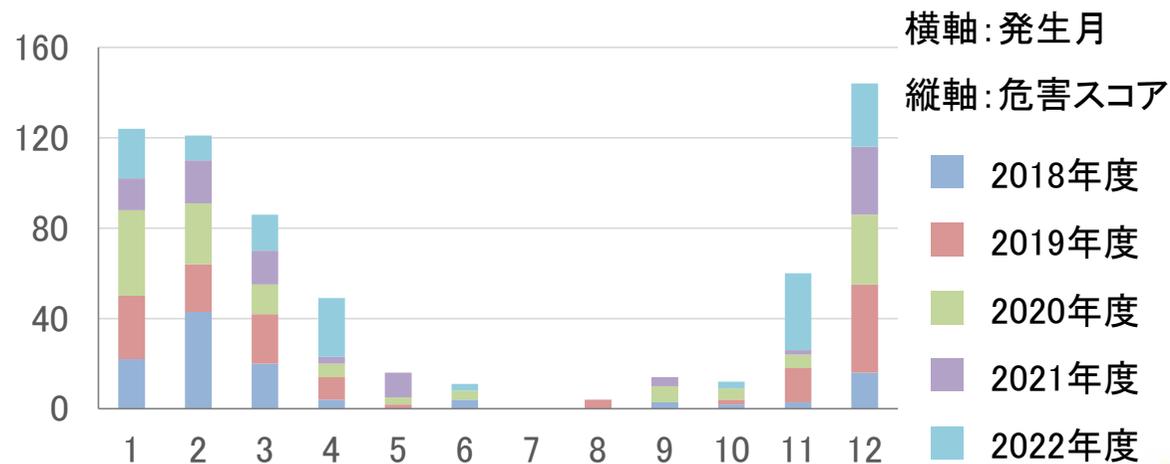
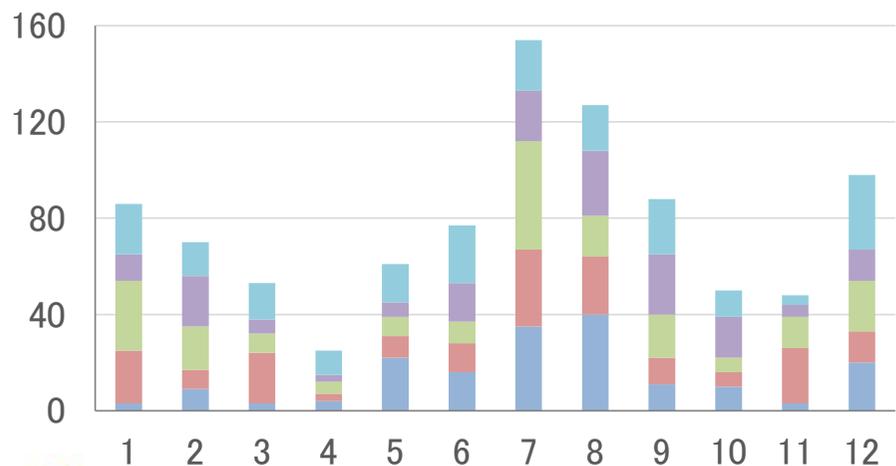
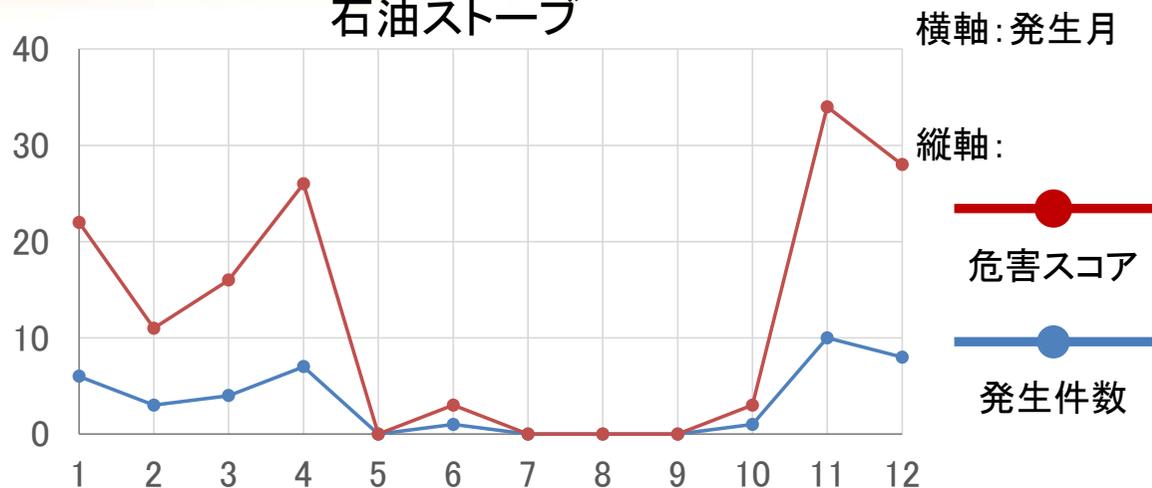
- 2018年度
- 2019年度
- 2020年度
- 2021年度
- 2022年度

# シーズン別の事故発生②(上段:2022年度、下段:過去5年度の危害スコア)

エアコン

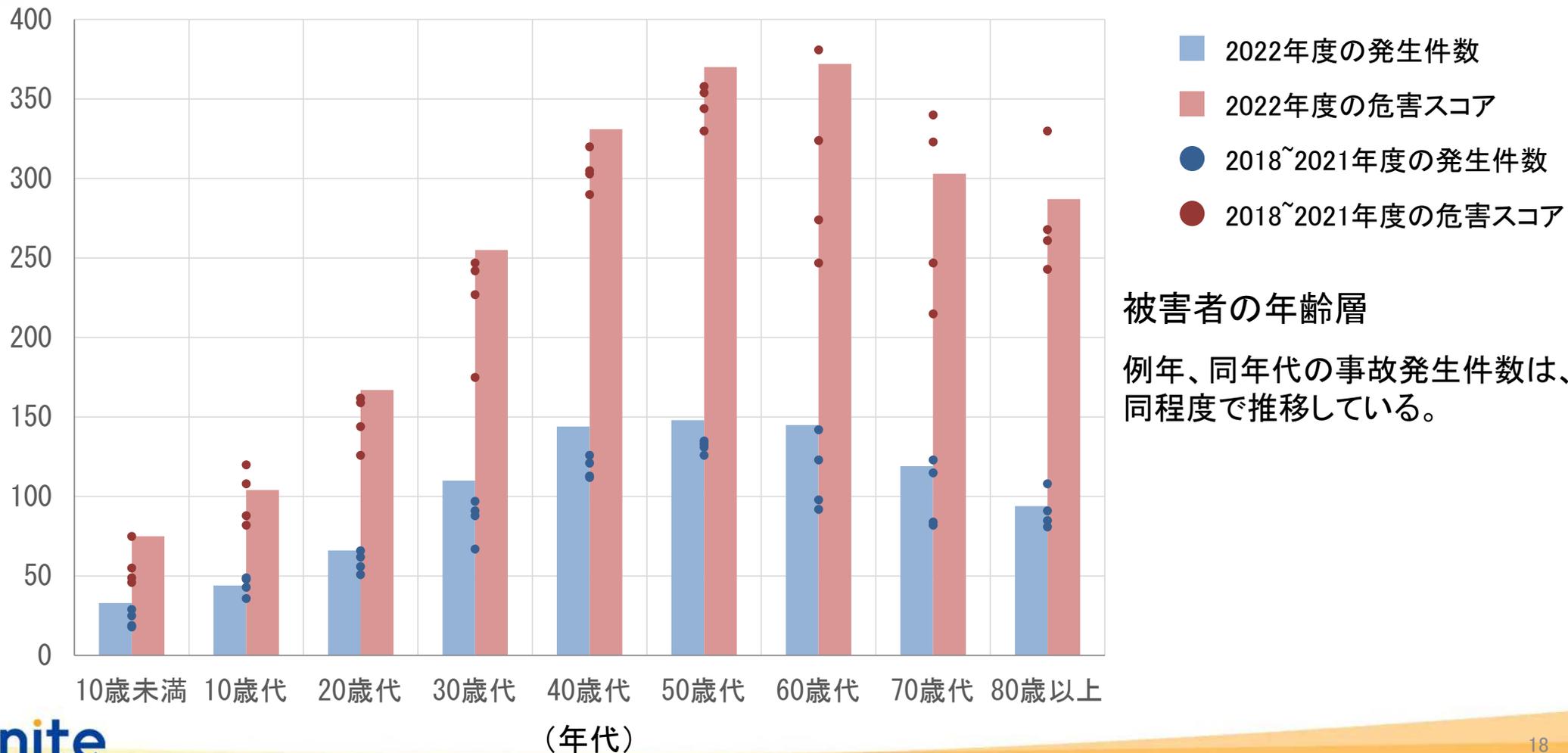


石油ストーブ



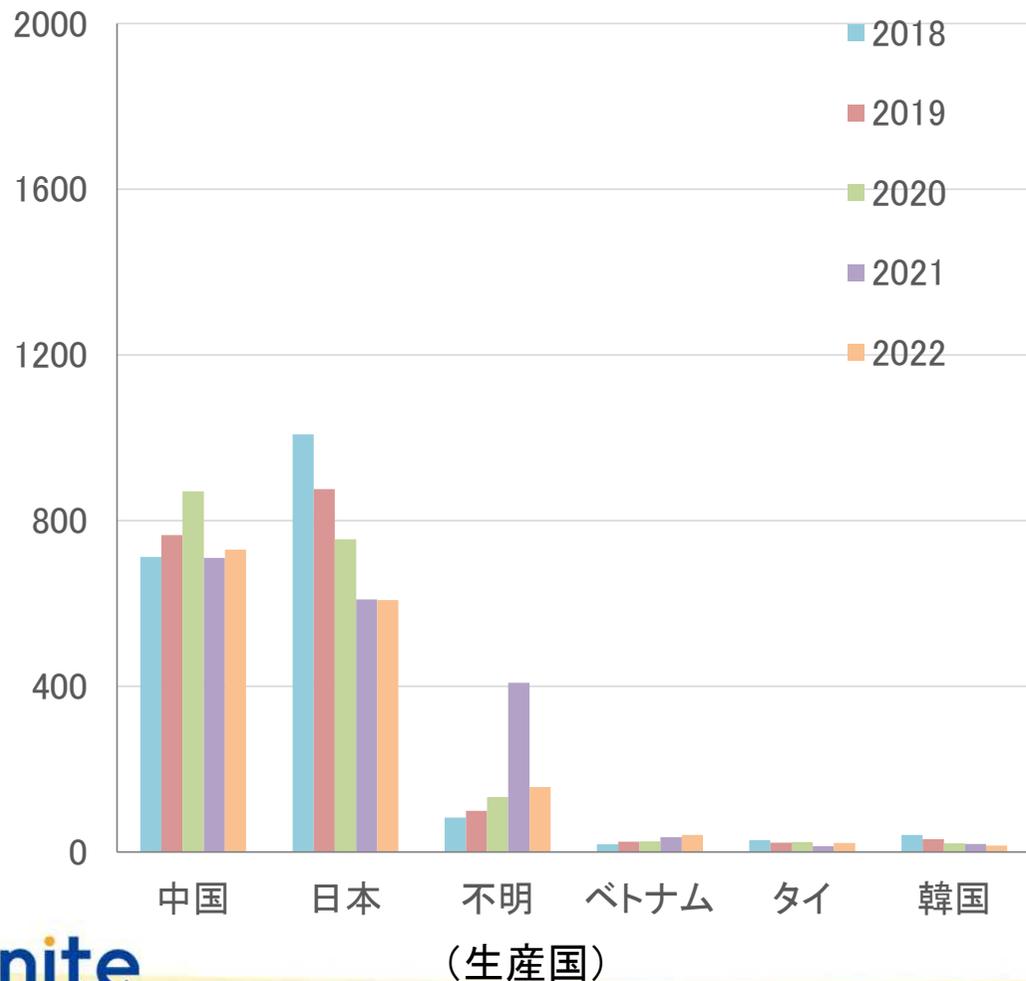
# 年代別事故発生件数と危害スコア

(件数／危害スコア)

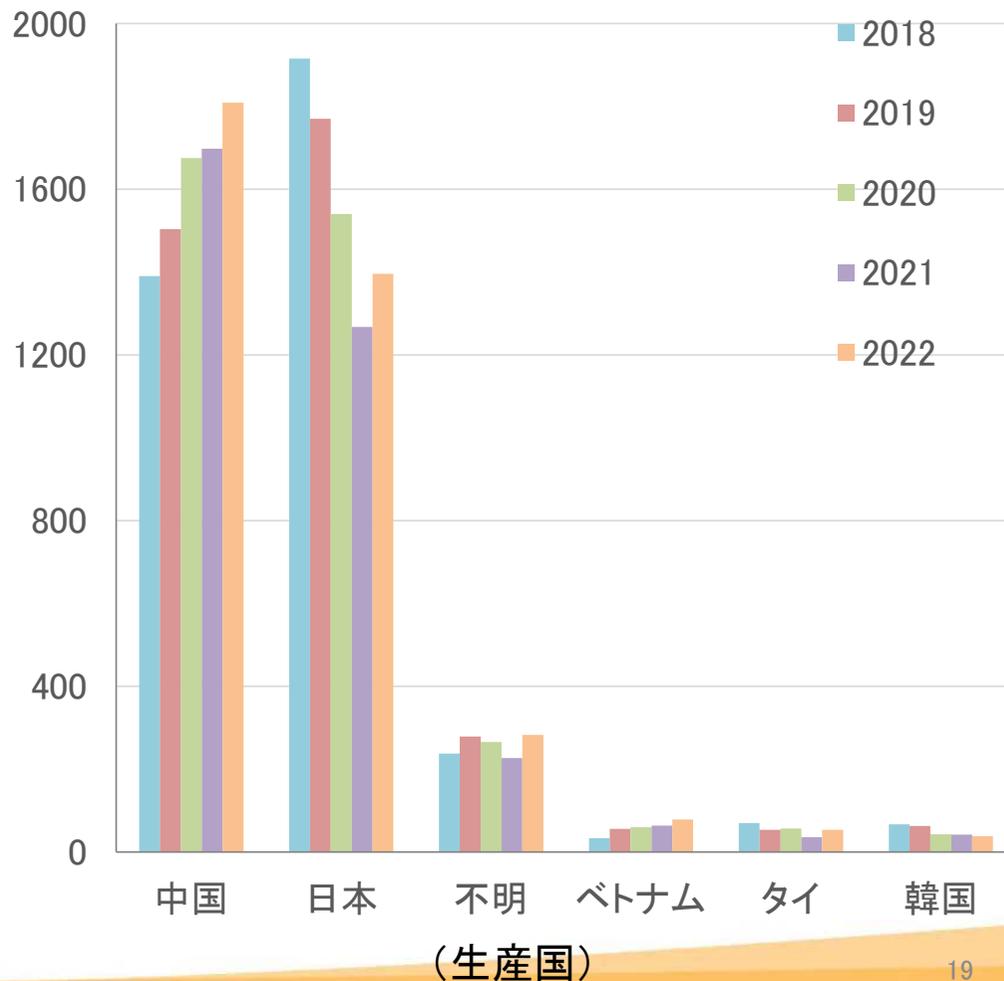


# 生産国別事故発生件数と危害スコア

(件数)



(危害スコア)



## (1) NITEの紹介

- 組織概要
- 事故情報について

## (2) 製品事故の動向紹介

- 事故情報収集状況
- 事故が多発した製品群の傾向
- その他の事故動向について

## (3) さいごに

# 年度報告書の紹介

## 2022年度 事故情報解析報告書 公表しました！

NITEは年に2回、報告書を公表

◆春には「事故情報収集報告書」

⇒統計的な情報を発信

◆秋には「事故情報解析報告書」

⇒事故情報からわかる社会の動向の紹介

NITEホームページで公表中

⇒「NITE 2022年度報告書」で検索！

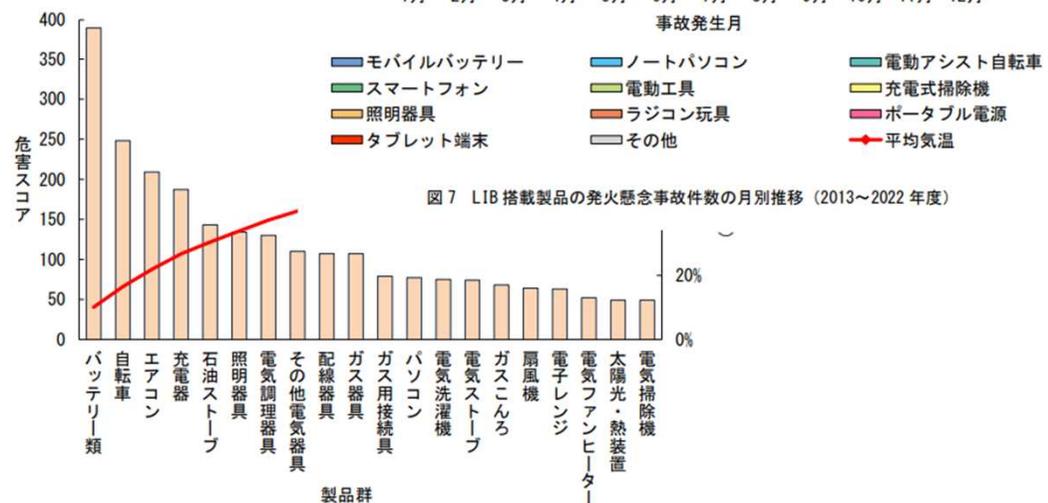
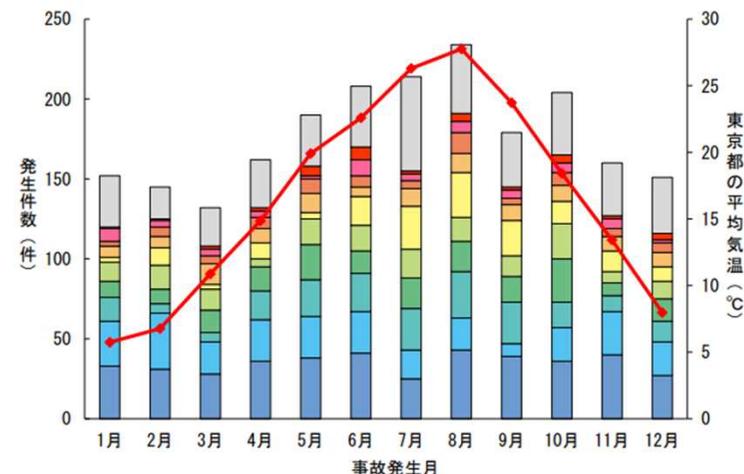


図3 2022年度に発生した事故リスクのパレート分析

事故 **ナイト** いいね

ご清聴ありがとうございました

<https://www.nite.go.jp/jiko/>

安全とあなたの未来を支えます

**nite** National Institute of Technology and Evaluation  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構